

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県桂川ウェルネスパーク	所管課	都市計画課
所在地	大月市富浜町鳥沢8438	設置年月日 (改築年月日等)	平成19年3月23日
管理方式	指定管理者(アメニス山梨(桂川)グループ、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	<p>以下に掲げる都市公園としての機能を発揮すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び、憩いの場を提供すること</li> <li>・防災拠点としての機能を発揮すること</li> <li>・良好な緑地景観、環境を提供すること</li> <li>・農林業の体験の場を提供すること</li> </ul>		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西ゾーン(99,000㎡) 里山交流館、交流広場、遊びの庭、菜園、体験の庭、駐車場</li> <li>・中央ゾーン(157,000㎡) 農業見本園、里山体験棟、子供広場、平坦広場、運動広場、ドッグラン、吊り橋</li> <li>・東ゾーン(165,000㎡) 棚田、ピクニック広場、バーベキュー場、散策路、駐車場</li> </ul>		
主な業務内容	<p>公園施設及び設置器具等の維持保全          有料施設の利用承認          農林業の体験の機会の提供          県が実施するイベント等への協力</p>		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	なし
---------------------	----

## 3 利用状況

単位：人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	65,959	79,434	80,215	
	有料施設利用者数	3,620	4,199	3,716	
	利用者数合計	65,959	79,434	80,215	
	目標値	68,000	70,000	80,000	84,000
	目標値設定の考え方	前年度実績を上回る目標数値とする。	前年度実績を上回る目標数値とする。	前年度実績を上回る目標数値とする。	前年度実績を上回る目標数値とする。
	対23年度比	100.0%	120.4%	121.6%	127.4%
稼働率					

## 4 収支状況

単位：円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	262,010	180,000	230,220	300,000
	指定管理者委託料	62,124,000	62,114,000	62,114,000	60,723,000
	その他	580,139	550,000	644,846	630,000
	収入合計(A)	62,966,149	62,844,000	62,989,066	61,653,000
支出	人件費	26,046,000	25,930,000	25,433,000	24,315,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	35,565,200	36,914,000	36,908,588	37,338,000
	(うち外部委託費)(B)	25,399,408	24,620,000	26,625,095	25,587,000
支出合計(C)	61,611,200	62,844,000	62,341,588	61,653,000	
収支差額(A - C)		1,354,949	0	647,478	0
外部委託比率(B ÷ C)		41.2%	39.2%	42.7%	41.5%
利用者一人当りの経費		782	776	774	723

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成25年 4月～26年3月 実施方法:来園者へのアンケート、回答数:240人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
良好な緑地の提供	97.0%	0.0%	3.0%	0.0%
施設の清潔さの提供	97.0%	0.0%	3.0%	0.0%
遊び、安全、安心感	96.0%	0.0%	4.0%	0.0%
広報、利用、案内等	95.0%	0.0%	5.0%	0.0%
スタッフの対応	95.0%	0.0%	5.0%	0.0%
イベントの充実感	92.0%	0.0%	8.0%	0.0%
各項目の平均	95.3%	0.0%	4.7%	0.0%

利用者の意見	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.緑は素晴らしいですが、フジの花やオレンジの花があるといい。</li> <li>2.年寄り向けの体育館や宿泊所等も考えてほしい。</li> <li>3.公園のボランティア作業だけでなく、福祉施設向けのメニューも企画してほしい。</li> <li>4.落ち葉プールがあるといい。</li> </ol>
利用者の意見への対応	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.「花咲かせ隊」という花木を植えるボランティアを募集し、桜、梅、桃の苗木を植栽した。</li> <li>2.高齢者やいきいきクラブなどを対象とした、餅つきや、石窯ピザ焼き体験などを企画し日帰りでも楽しめる企画を行った。</li> <li>3.施設向け団体利用で花壇の植え付け体験などを企画している。</li> <li>4.落ち葉プールを交流広場に設置し来園者に楽しんでいただいた。</li> </ol>

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	徹底したトイレの清掃を行い、来園者より高い評価をいただいた。こまめな補修、点検を行い大きな修繕や危険箇所などの排除ができ、安全な環境を維持できた。	適切な維持管理が行われている。安全で快適な環境を提供できている。
運營業務	周辺地域の情報発信をするため、情報コーナーを開設した。夏の来園者対策として、日よけテントの設置や、仮設の水遊び場の開設を行った。秋の落ち葉プールなど、季節ごとに変化する遊び場を設置し利用の促進を図った。アンケートの指摘や好評など、朝礼で発表し、職員全員で問題を共有し、早期処理を行った。	情報コーナー・日よけテント・仮設の水遊び場・落ち葉プール等の設置により、利用者への快適な環境を提供し、利用者増加につなげている。中央ゾーンの里山体験棟については、活用方法を検討し、利用者の増加をはかること。
自主事業	来園者のサービスとバーベキューサイト利用促進を図るため、バーベキューコンロの貸し出しをはじめた。そのほか手軽に体験できる「観察セット」などのレンタルセットの充実を行い利用者に好評を得た。	公園の自然環境の特色を活かしたイベントが積極的に実施されている。
利用状況	農業体験を中心とし、山里の暮らしと結び付けた林業体験を行い収穫から食の文化を知る体験プログラムを実施し好評を得た。イベントの充実、広報の多様化で集客も増えていたが、2月の大雪のため利用者が伸び悩んだが、目標の80,000人を達成することができた。	ホームページ、広報誌等を活用し、積極的に利用者の誘致に努めている。特に、提案された自主事業は、ほぼ計画通り実施され、参加・体験型の企画も充実し、利用者の満足度も高く、公園利用者増加に貢献している。
収支状況	大規模な修理等が発生すると、収支を圧迫するため、こまめな点検を行い、補修、修繕で維持管理を進めている。今後も長期利用のための補修管理を進めていく。光熱水費の節約に心がけた。	予防保全のため、施設修繕費を増やし、利用者の利便性の向上に努めること。
利用者満足度	施設や緑地に対する満足度は依然高い。開催イベントに対する周知不足との要望があった。イベント回数は多いが、リピーターが多く、体験する方が偏っている。だれでも手軽に楽しめるイベントを入れながら、満足度を上げる工夫を行っていく。	老若男女が参加可能なイベントを企画すること。
運営目標の達成状況	来園者目標 80,000人 実績80,215人と達成した。大雪災害のため2月の利用者が大きく落ち込み、かろうじて達成したが大きく伸ばすことができなかった。4年間の実績のもとに、5年目の維持管理を行い、効率よく公園のコンセプトに合った管理ができた。安全巡視、利用指導においても十分に利用者の安全、ニーズにこたえることができた。イベントの量としては、増やす方針で来たが限界もあり、地域住民による「大月癒しのフェスタ」「スポーツ少年団駅伝大会」など協働イベントでカバーできた。大型のお祭りイベントも、東部地域の来園者に認知度が広がっている。体験型イベントについても、収穫体験型から、里山暮らしの楽しさや、循環型の生活体験などへ広げ充実した。	

<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>事業計画書に沿った植物・施設・設備の維持管理、清掃に取り組み、利用者への安全性の確保に努めた結果、管理運営は良好に行われている。          予防保全のため、施設修繕に意を用い、利用者の利便性の向上に努めること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>遊具施設の予防保全のため、月2回の日常点検と定期点検を強化している。木部の劣化、腐食などに対して、日常補修や専門業者による補修などを組み合わせることにより、長期的な安全利用を図っている。施設、設備においても、定期点検、日常点検を確実にを行い、予防保全に努めている。今後はさらに劣化が進むことから、専門業者と密な連携や意見交換などを行い、必要に応じた対応を図り、長期的な観点で取り組んでいく。          利用促進事業は、里山体験棟を中心とした森づくり体験や里山遊び倶楽部など、里山循環型の生活を体験し、自然と人間との関係を知る核施設として利用を高める。</p>

7 管理体制(組織図)

